

キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

2027年卒の就活意識・実態調査

2027年3月卒業予定の大学生・大学院生対象

27卒新卒就活・実態調査

キャリアチケット

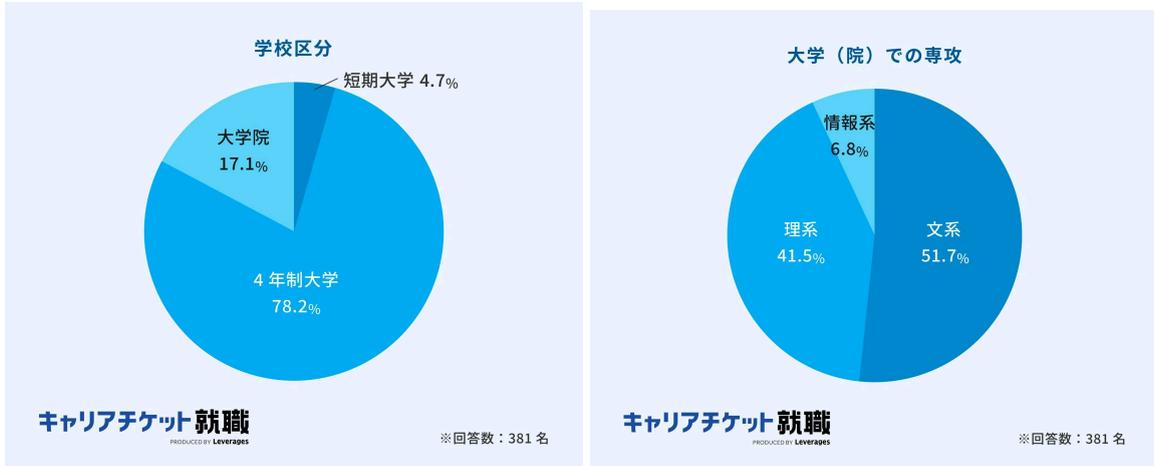
レバレッジズ株式会社が運営する新卒学生向けキャリア支援サービス「キャリアチケット就職」(<https://careerticket.jp/>) は、2027年3月卒業予定の大学生・大学院生381名を対象に就活実態調査を実施しました。

〈目次〉

1. 回答属性
2. 就活状況
3. 選考社数
4. インターンシップ参加状況
5. 就職活動において難しいと感じること
6. 情報収集の手段
7. 職業観
8. AIの利用状況と職業観に与える影響

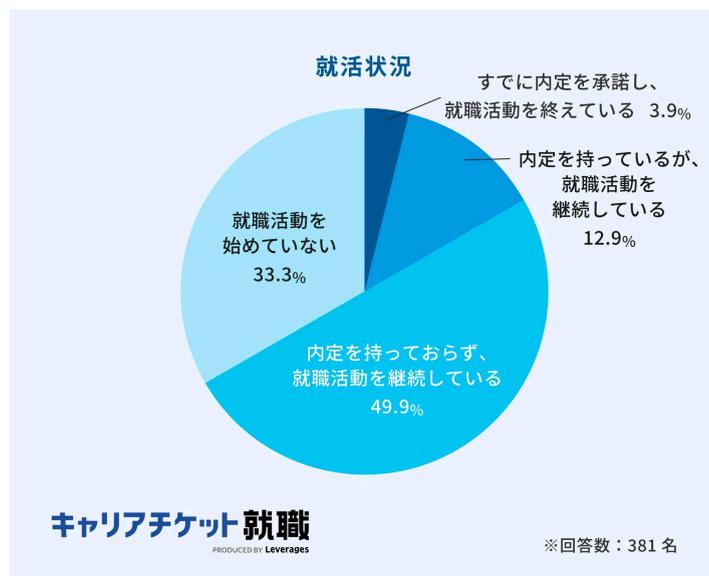
- 9. 転職における価値観
- 10. 初任給
- 11. 出世欲

1.回答属性



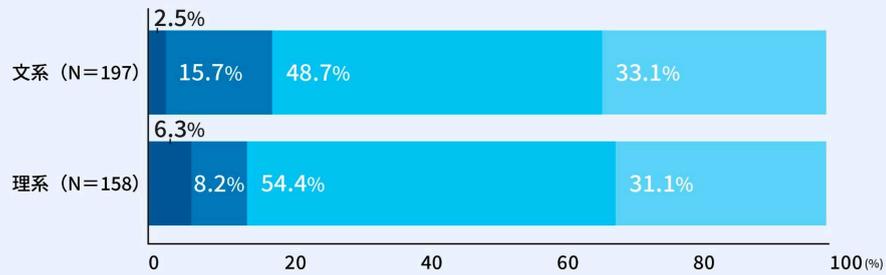
2.就活状況

2025年12月時点の就活状況について、「すでに内定を承諾し、就職活動を終えている（3.9%）」「内定を持っているが、就職活動を継続している（12.9%）」を合わせ、約17%の学生が内定を得ています。「就職活動を始めていない（33.3%）」と回答した27卒の学生は約3割に留まり、7割近くの学生は既に就職活動を開始していることが分かります。文理別では大きな違いは見られないものの、「内定を持っているが、就職活動を継続している」と回答した割合が文系では約16%に上り、理系と7.5ptの差があることがわかります。



【文理別】就活状況

- すでに内定を承諾し、就職活動を終えている
- 内定を持っているが、就職活動を継続している
- 内定を持っておらず、就職活動を継続している
- 就職活動を始めていない



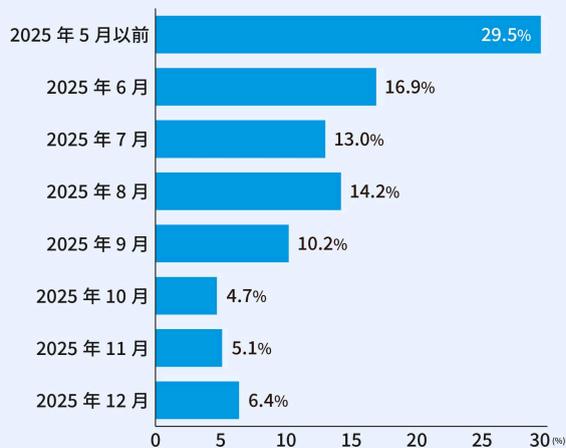
キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

就職活動を開始*1した時期は「2025年5月以前(29.5%)」が最多となり、次いで「2025年6月(16.9%)」「2025年8月(14.2%)」と続きます。夏インターンの募集開始や実施時期に合わせて就職活動を本格的に始める傾向が見て取れます。

*1 就職活動開始＝適性検査や説明会を受け始める時期として回答

就職活動の開始時期



キャリアチケット就職

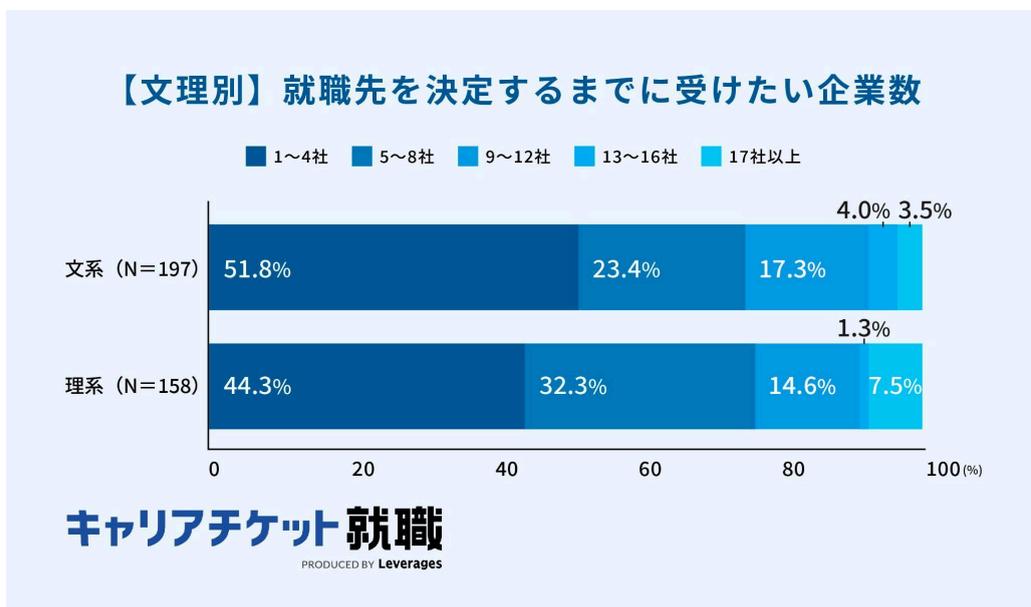
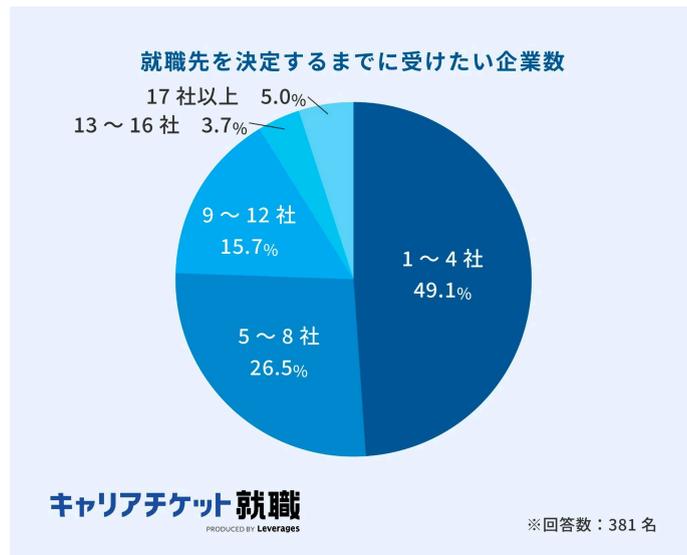
PRODUCED BY Leverages

※回答数：就職活動を既に開始、もしくは終えている27卒学生 254名

3.選考社数

2027年卒の学生が、就職先を決定するまでに受けた企業数としては「1~4社(49.1%)」が最多となり、特に文系では51.8%と半数を超えました。

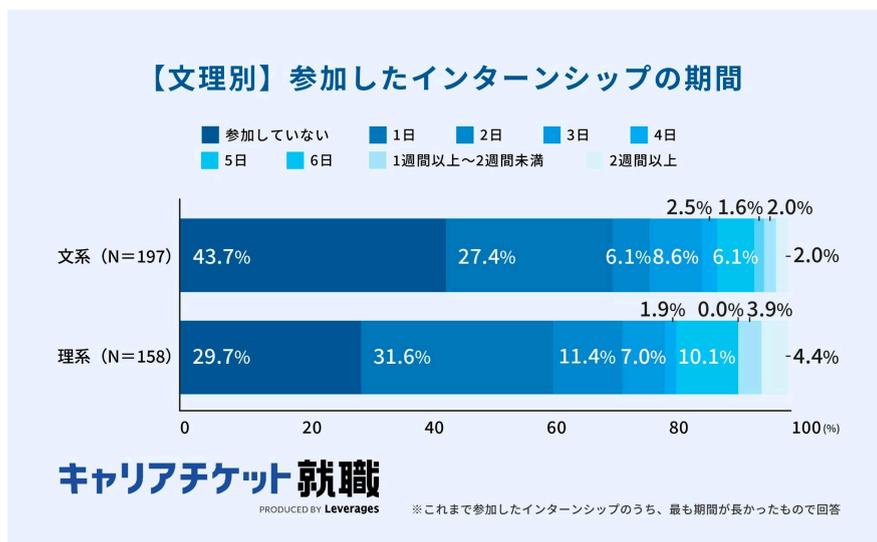
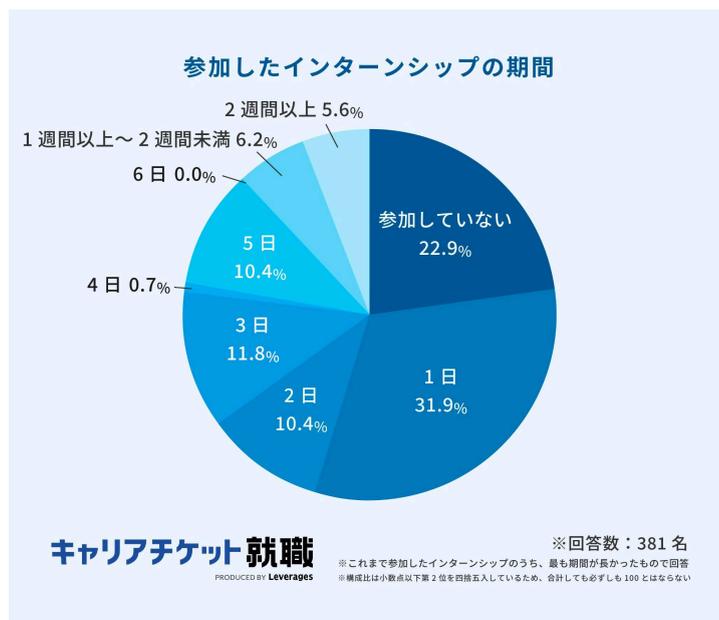
また「8社以内」と回答した学生は全体の約8割にのぼります。数多くの企業を受けるよりも、自分に合った企業を見極めたうえ、選考を受ける企業数を絞り込みたいという学生の意向がうかがえます。



4. インターンシップ参加状況

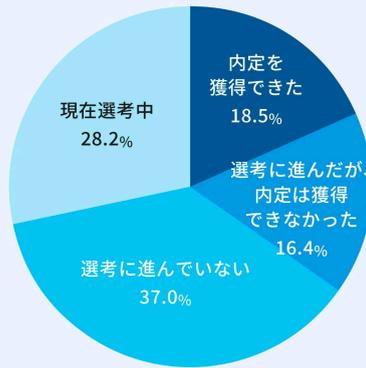
インターンシップの参加経験*2については、約8割が1日以上プログラムを経験済みでした。文理別で見ると、理系学生は7割以上が参加しており、積極的に活用していることが分かります。

*2 これまで参加したインターンシップのうち、最も期間が長かったもので回答



インターン参加後の選考状況については、約6割がその後の選考に進んでいることが分かります。中には、12月時点でインターンシップ参加先から「内定を獲得できた(18.5%)」と回答した27卒生も約2割存在しており、早期に結果を出している層も一定数見受けられます。

インターンシップ参加企業における選考状況

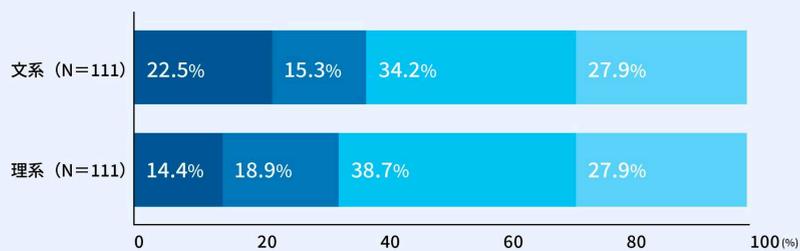


キャリアチケット就職

※回答数：インターンシップに参加したことがある 27 卒学生 238 名
 ※これまで参加したインターンシップのうち、最も期間が長かったもので回答
 ※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

【文理別】インターンシップ参加企業における選考状況

■ 内定を獲得できた ■ 選考に進んだが、内定を獲得できなかった ■ 選考に進んでいない ■ 現在選考中



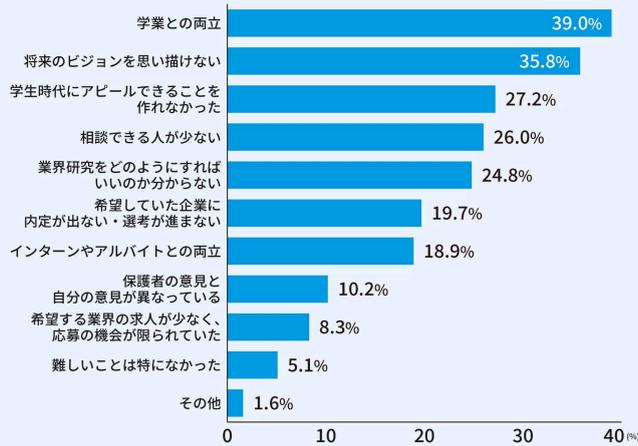
キャリアチケット就職

※これまで参加したインターンシップのうち、最も期間が長かったもので回答
 ※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

5.就職活動において難しいと感じること

就職活動において難しいと感じることについては「学業との両立(39.0%)」が最も多く、次いで「将来のビジョンを思い描けない(35.8%)」「学生時代にアピールできることを作れなかった(27.2%)」と続きます。文理別で見ると、文系は「将来のビジョンを思い描けない(40.2%)」が1位であるのに対し、理系は「学業との両立(40.4%)」が1位となっています。就職活動の早期化により、選考と大学の研究やゼミが重なっていることが、特に理系学生にとって大きな負担となっている様子が見えます。

就職活動において難しいと感じること（複数回答）



キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages

※回答者数：就職活動を既に開始、もしくは終えている 27 卒学生 254 名

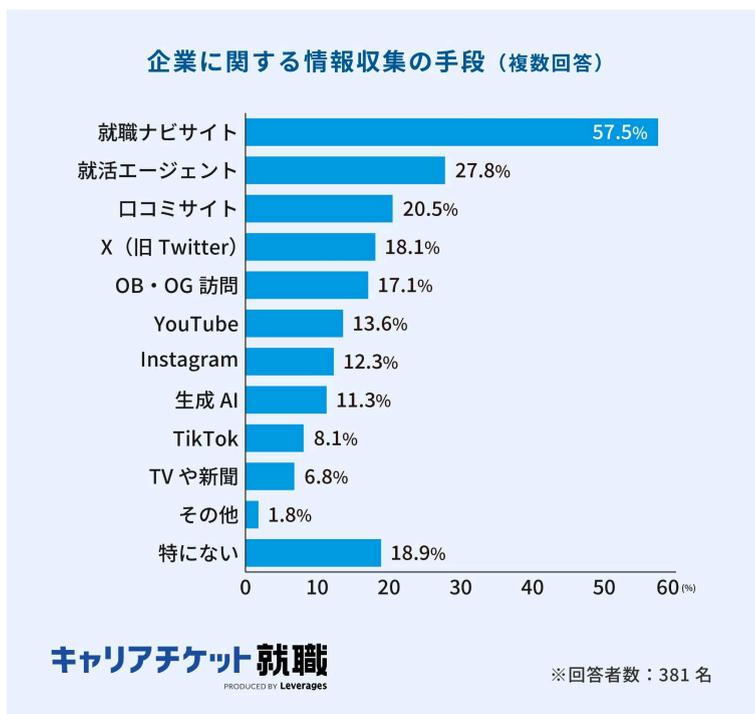
【文理別】就職活動において難しいと感じること（複数回答）

	文系 (N=132)	理系 (N=109)
1位	将来のビジョンを思い描けない (40.2%)	学業との両立 (40.4%)
2位	学業との両立 (37.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 相談できる人が少ない (29.4%) 将来のビジョンを思い描けない (29.4%)
3位	インターンやアルバイトとの両立 (31.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 学生時代にアピールできることを作れなかった (23.9%)

キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages

6.情報収集の手段

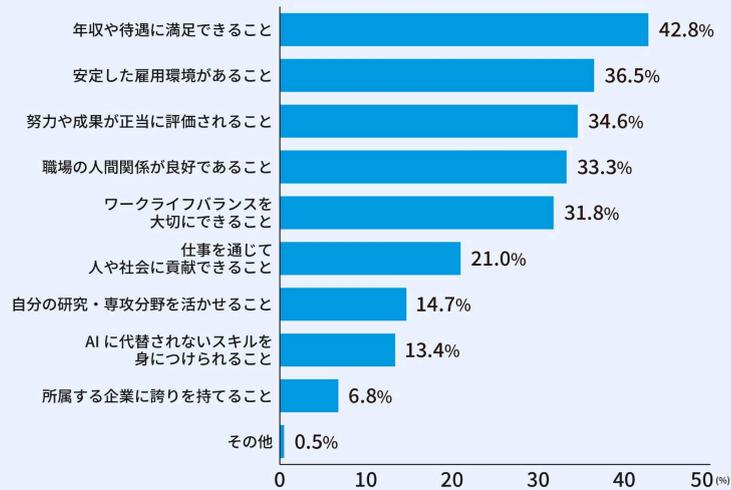
企業に関する情報収集の手段としては「就職ナビサイト(57.5%)」や「就活エージェント(27.8%)」が上位に挙げられました。またSNSや口コミサイトの利用者を活用する層も一定数存在し、中でも約5人に1人は口コミサイトを活用していることが分かります。企業が発信する情報だけでなく、多様なチャネルを使い分けることで、より企業のリアルな情報を収集しようとする姿勢がうかがえます。



7.職業観

仕事において大切にしたい価値観は「年収や待遇に満足できること(42.8%)」が最多でした。また企業を選ぶうえで譲れない条件については「完全週休2日制(38.1%)」「年間休日の多さ(32.3%)」が上位に挙げられ、私生活と仕事のバランスを重視する傾向が見受けられます。

仕事をするうえで大切だと感じる価値観（複数回答）

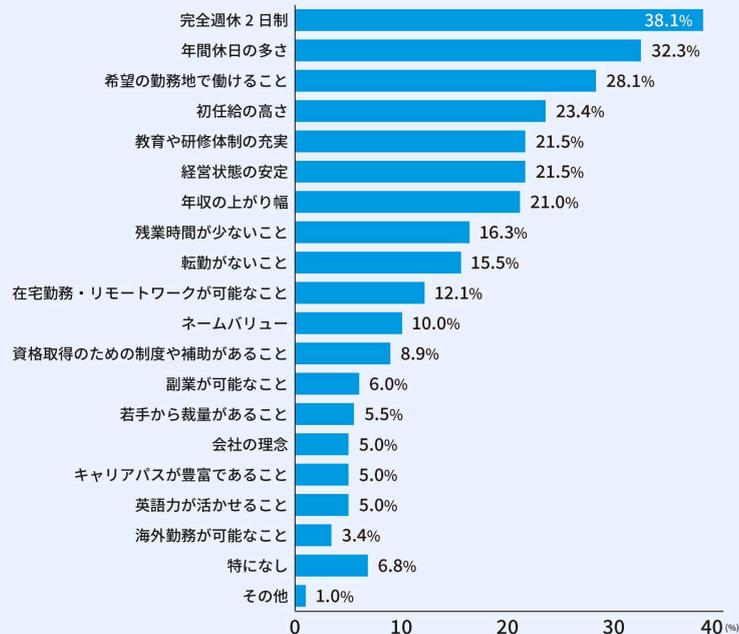


キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

※回答者数：381名

企業を選ぶうえで譲れない条件（複数回答）



キャリアチケット就職

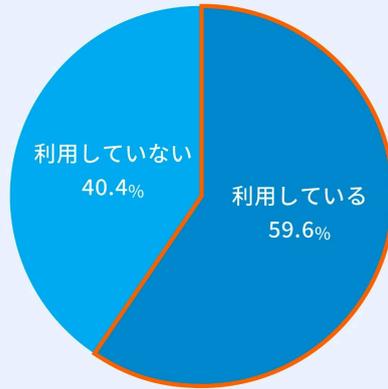
PRODUCED BY Leverages

※回答者数：381名

8.AIの利用状況と職業観に与える影響

27卒学生のうち、就職活動にAIを利用している割合は59.6%と過半数を超えました。文理別でも、利用状況に大きな差が見られないことがわかります。

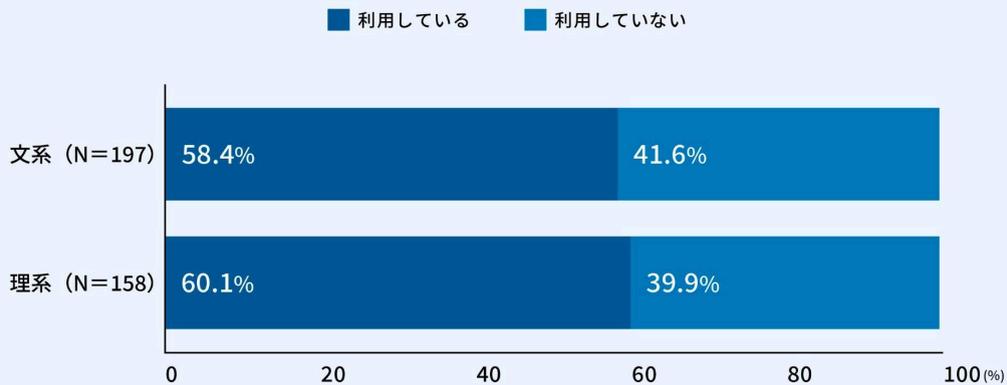
就職活動に AI を利用しているか



キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages

※回答数：381名

【文理別】就職活動に AI を利用しているか



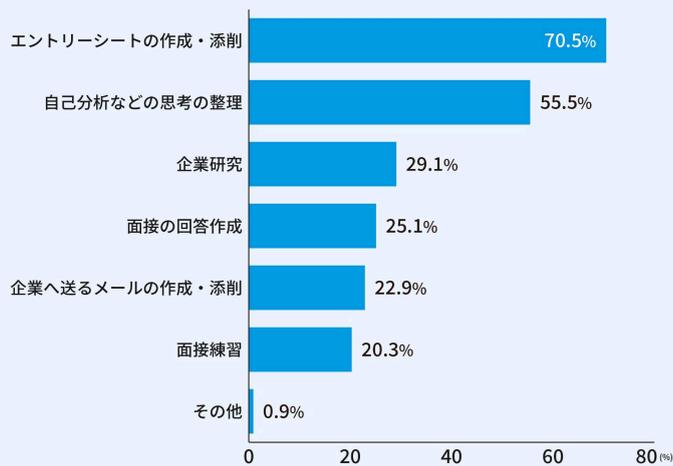
キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

主な利用目的については「エントリーシートの作成・添削(70.5%)」が最も多く、次いで「自己分析などの思考の整理(55.5%)」「企業研究(29.1%)」と続きます。また、AIを利用する理由では「対話を通して自分の価値観を深掘りすることができるから(41.0%)」が最多でした。提出する文章の作成・添削のみならず、自身の思考を深めるための壁打ち相手としてAIが活用されている実態が見て取れます。

一方で使用していない理由は「使う必要性を感じていないから(37.7%)」が最も多い結果となりました。

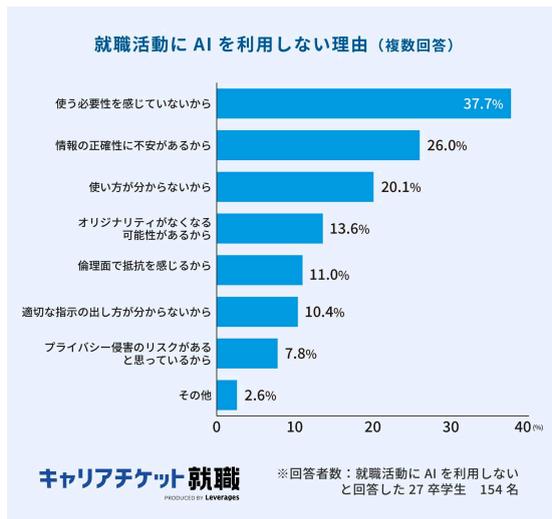
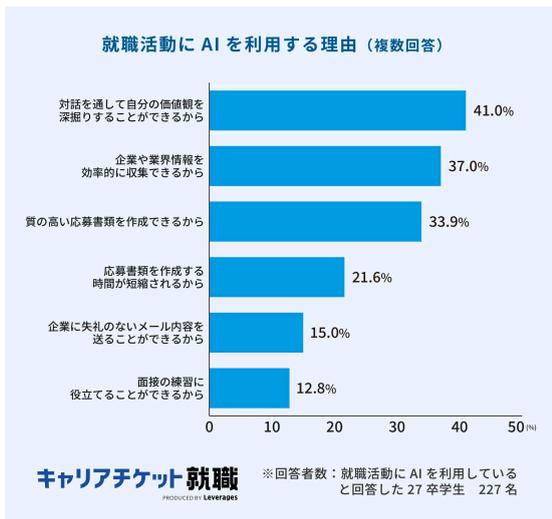
就職活動における AI の利用目的 (複数回答)



キャリアチケット就職

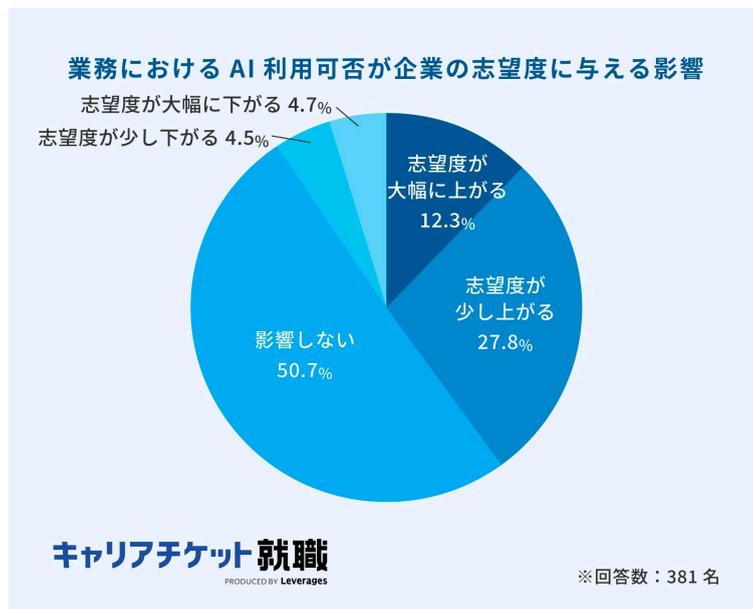
PRODUCED BY Leverages

※回答者数：就職活動に AI を利用していると回答した 27 卒学生 227 名

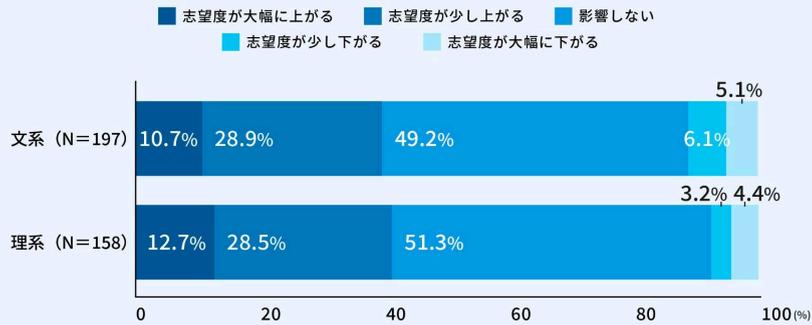


「業務で AI の使用が認められていることは企業の志望度に影響を与えるか」という質問に対しては、約 4 割が「志望度が大幅に上がる (12.3%)」「志望度が少し上がる (27.8%)」と回答しました。

志望度が上がる理由としては「業務効率化することでワークライフバランスを整えることができそうだから (52.3%)」が最も多い結果でした。AI を単なるツールとしてではなく、より良い働き方を実現するための手段として捉えている様子が分かります。



【文理別】業務での AI 利用許可が企業の志望度に与える影響

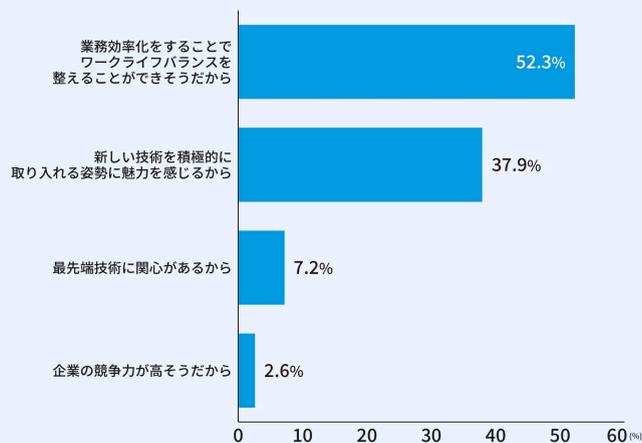


キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない

業務での AI 利用許可により志望度が上がる理由



キャリアチケット就職

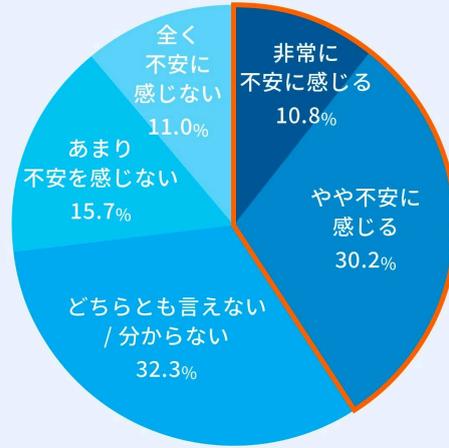
PRODUCED BY Leverages

※回答数：業務で AI 利用が認められると企業の「志望度が大幅に上がる」「少し上がる」と回答した 27 卒学生 153 名

「AIの進化により、将来携わりたい仕事が代替されるかもしれないという不安を感じるか」という質問に対しては、約4割が「非常に不安を感じる(10.8%)」「やや不安を感じる(30.2%)」と回答しました。

またAIの進化が自身の将来目指す職種に「影響を与えた(12.1%)」「どちらかというに影響を与えた(34.6%)」と回答した学生は約4割を超えています。AIの急速な進化は、就職活動における利便性の向上だけでなく、職種選びの基準にも影響を与えていることが分かります。

AIの進化により、将来携わりたい仕事が代替されるかもしれないという不安を感じるか



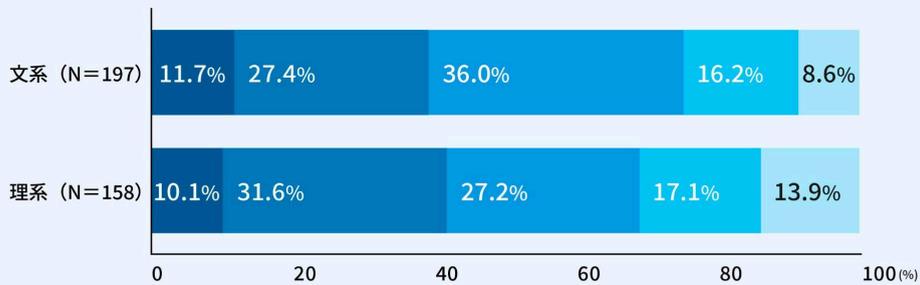
キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

※回答数：381名

【文理別】AIの進化により、将来携わりたい仕事が代替されるかもしれないという不安を感じるか

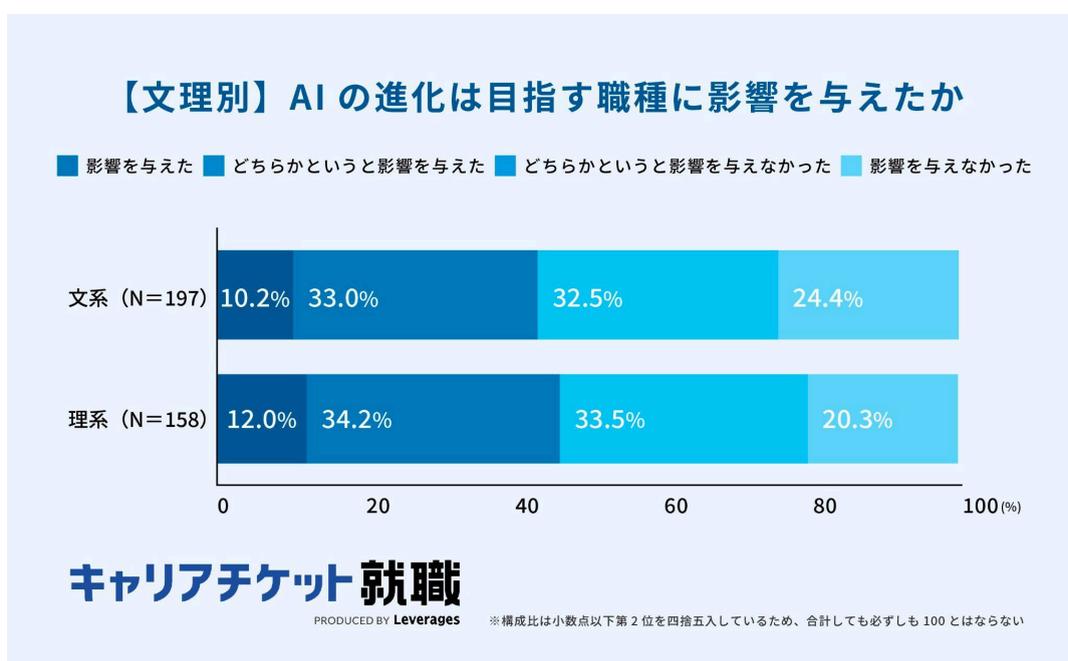
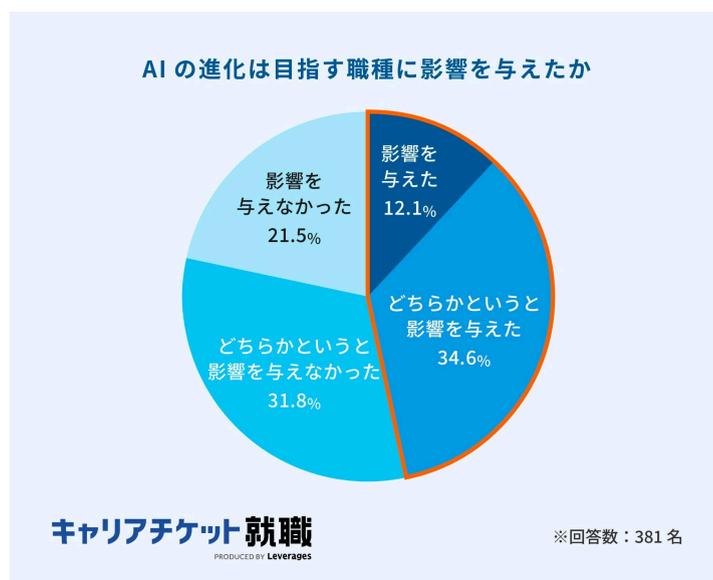
■ 非常に不安を感じる ■ やや不安を感じる ■ どちらとも言えない / 分からない
■ あまり不安を感じない ■ 全く不安を感じない



キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない

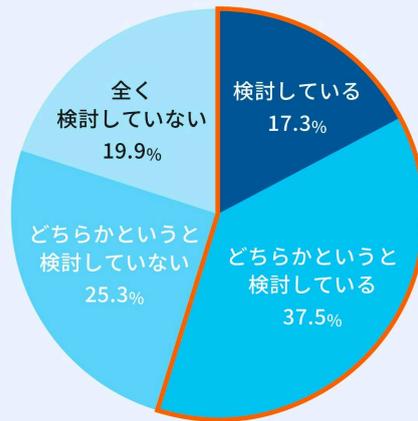


9. 転職における価値観

「今後のキャリア形成にあたって転職を一つの手段として考えているか」という質問に対して、2027年卒学生の約5割以上が「検討している(17.3%)」「どちらかというに検討している(37.5%)」と回答しました。特に理系学生は約6割が転職を視野に入れており、終身雇用を前提としないキャリア形成を検討していることが分かります。

その理由としては「入社する企業が自分に合うか分からないから(28.7%)」が最多となりました。新卒入社する企業で働きたい期間としては「時期は特に決めていない(44.5%)」が最多となりましたが、「1年以内に転職したい(3.3%)」と「2年～3年以内に転職したい(20.1%)」を合わせると23.4%となり、27卒の学生の約4人に1人は「入社から3年以内」の転職を意識していることが分かります。

キャリア形成にあたって転職を一つ的手段として検討しているか

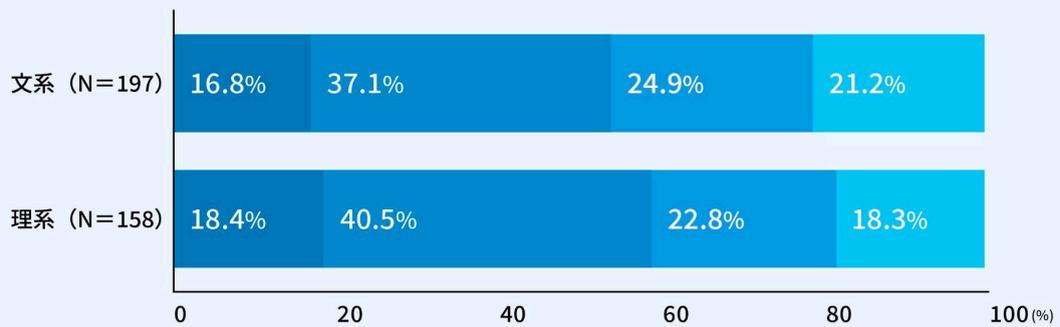


キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages

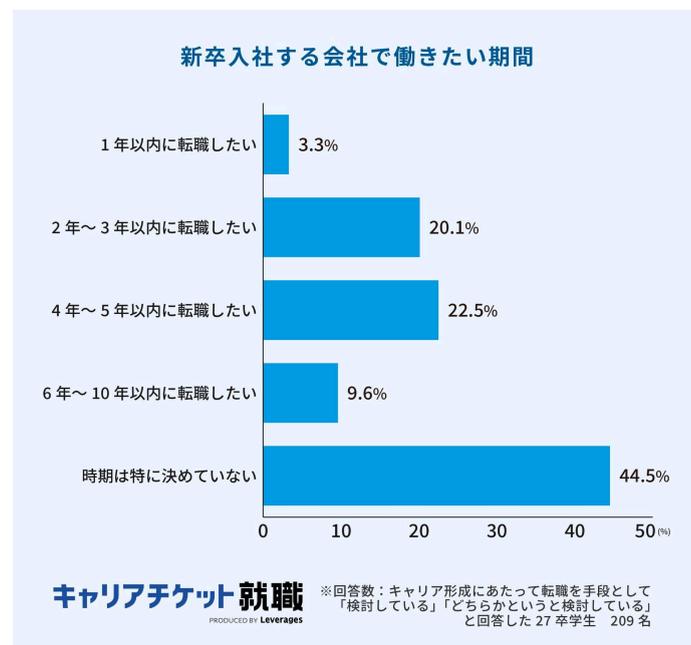
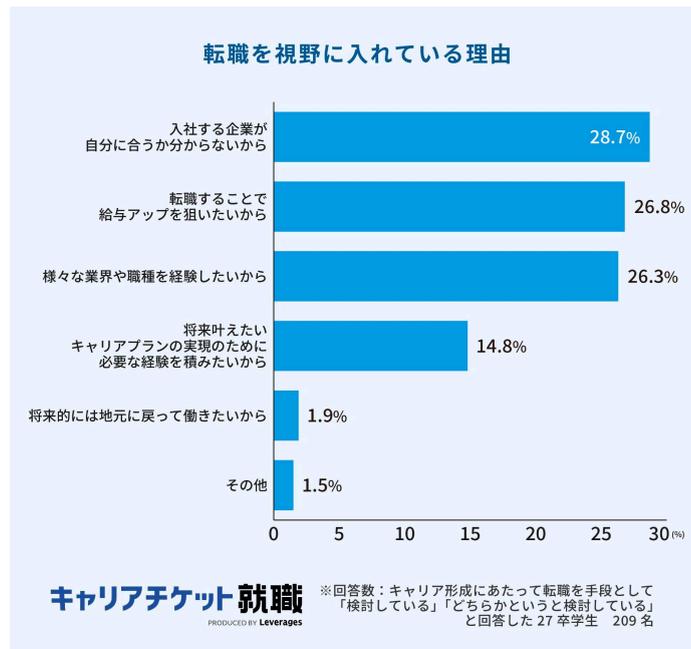
※回答数：381名

【文理別】キャリア形成にあたって 転職を一つ的手段として検討しているか

■ 検討している ■ どちらかという
と検討している ■ どちらかという
と検討していない ■ 全く検討していない

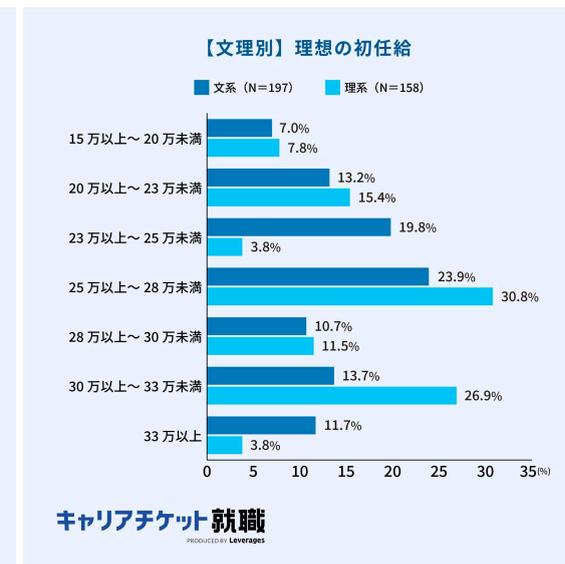
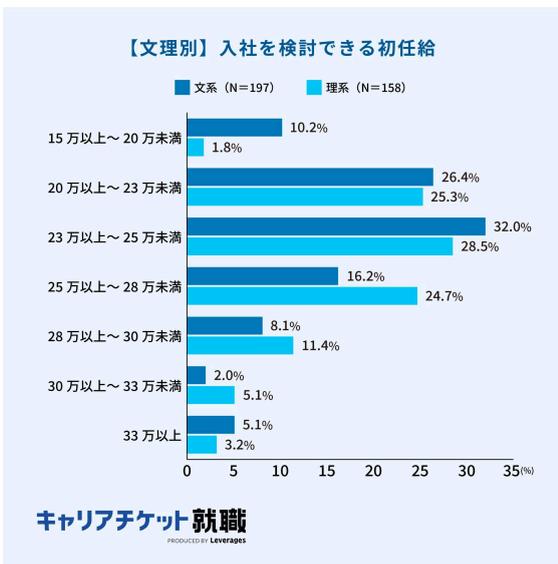
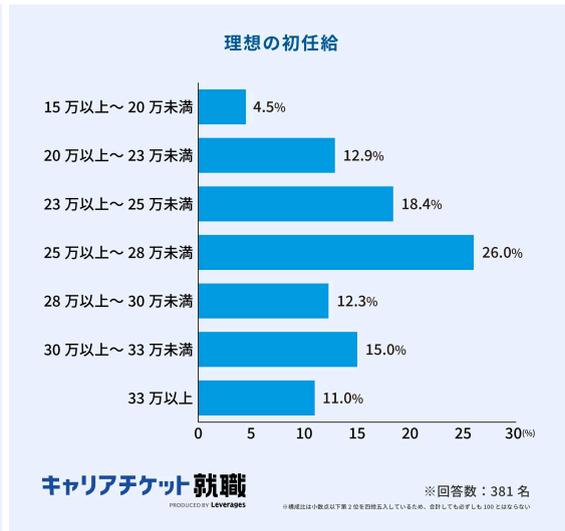
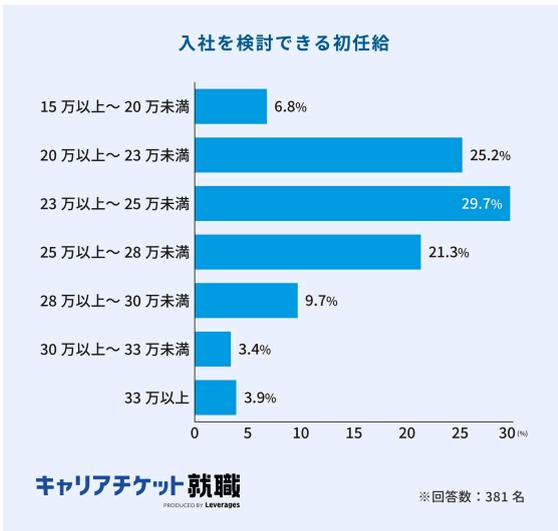


キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages



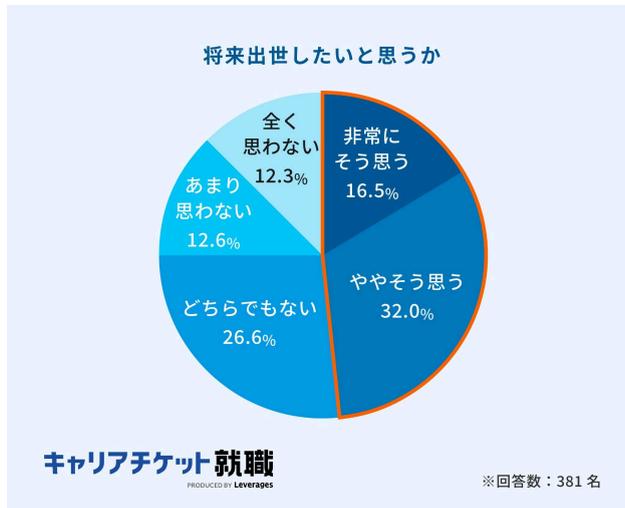
10. 初任給

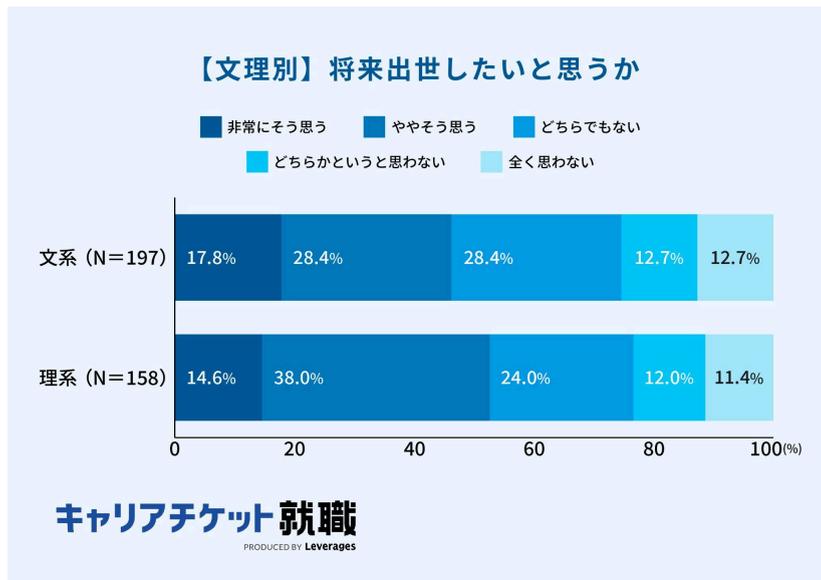
入社を検討できる初任給については「23万以上～25万未満(29.7%)」がボリュームゾーンですが、理想の初任給については「25万以上～28万未満(26.0%)」が最多となりました。また、また、理系学生においては、「30万以上～30万未満(26.9%)」と「33万以上(3.8%)」を合わせると30.7%となり、3割以上が「30万以上」の初任給を理想としていることが分かります。



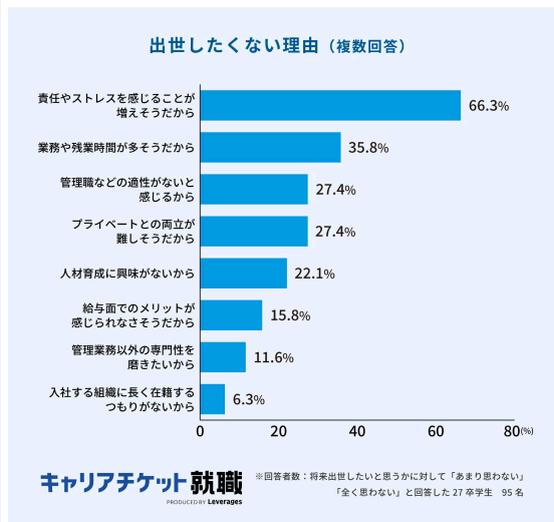
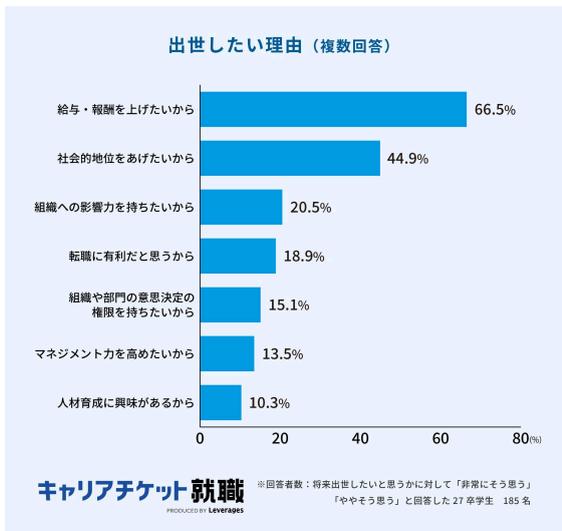
11.出世欲

「将来出世したいと思うか」という質問に「非常にそう思う(16.5%)」「ややそう思う(32.0%)」と回答した学生は理系では5割を超えたものの、全体では約49%となり過半数を下回りました。





出世したい理由としては「給与・報酬を上げたいから(66.5%)」が最多でした。一方で、「将来出世したいと思うか」という質問に「あまり思わない(12.6%)」「全く思わない(12.3%)」と回答した学生が出世したくないと思う理由は、「責任やストレスを感じるが増えそうだから(66.3%)」が最多となり、過度な責任や私生活の影響を避けたいと考える学生が一定数存在することが明らかになりました。



<調査概要>

調査年月：2025年12月12日～2025年12月22日
 調査方法：インターネット調査
 調査主体：レバレッジズ株式会社
 実査委託先：GMOリサーチ&AI株式会社
 有効回答数：381名
 調査対象：2027年卒業予定の大学生・大学院生

「キャリアチケット就職」(<https://careerticket.jp/>)

キャリアチケット就職は、新卒学生向けのキャリア支援サービスを展開しています。エージェントやスカウトサービスを軸に、一人ひとりに寄り添ったキャリア支援を重視し、学生と企業の最適なマッチングを追求。就職活動の早期化・複雑化が進むなか、あらゆる学生が納得感のある選択をできるよう、手厚いサポートを提供しています。

レバレッジズ株式会社(<https://leverages.jp/>)

本店所在地：東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア24階 /25階

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、システムコンサルティング事業、M&Aアドバイザー事業、DX事業、メディカル関連事業、教育関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&Aの領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し、2024年度は年商1428億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL:03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp